

令和7年度 諏訪市教職員研修講座<sup>※1</sup>及びすわ未来創造「子どもゆめプロジェクト(第3期)」<sup>※2</sup>での  
「メガネサナエ」のモニタリング調査等の活動について

- 1 実施日 7月29日(火) 9:00~12:00
- 2 実施内容 ・メガネサナエの生態のお話及びモニタリング調査の方法等について 諏訪市公民館  
・観察場所に移動しながら、モニタリング調査等  
①船渡川河口の栈橋 ②諏訪湖園の栈橋 ③諏訪湖観光汽船の栈橋 ④赤砂崎公園の栈橋  
⑤岡谷湖畔公園遊具ひろば付近
- 3 参加者 教職員及び「ゆめプロ」メンバーその家族、事務局 計13名
- 4 講師 長野県農業大学校教授(日本トンボ学会員) 福本 匡志さん  
長野県諏訪湖環境研究センター調査研究部研究員の皆さん
- 5 フィードバック

(1) 教職員

- ① 「メガネサナエ」のことは、少しだけ知っていたが、詳しいことは知らなかった。興味があったので、今回学びたくて参加しました。  
今回は、子ども(児童)と一緒に活動することができて楽しかったです。実際の調査に関わることができ、調査場所の様子や方法が知ることができ勉強になりました。
  - 特別支援学級の担任として、中庭を中心とした自然観察を4名+担任で自立活動の一環として行っているが、その活動の中にトンボの観察があり、担任として、その観察方法や基本的な知識を得たかったので参加しました。ビオトープ化した自校の中庭を中心とした自然観察を行うについて  
・今回のガイダンスの内容は、本校を取り巻く諏訪(特に諏訪湖に流入河川)のトンボを中心として、生態の知識を伝えることは、意義のあることと思うので、夏休み明けに資料と写真(今回撮影)を使って伝達したい。
  - ・ヤゴについて五ヶ所を定期的にぬけがらを集めてみるというフィールドワークは、本校でいえば中庭の池(8畳位)とそこから流れる水路、そして、その水路の途中にある池に当たるので、それに焦点を絞り観察したい。その結果を全校に伝え、保全につなげたいと思う。
  - 自分はトンボに関する知識が乏しいため、大変勉強になりました。メガネサナエが、絶滅危惧種であること、また、諏訪湖、琵琶湖、愛知県の一部でしか生息していないことを知り、保護に務めなければならないと思いました。そして、子どもたちにも紹介して一緒に勉強していこうと思いました。まずは、パンフレットを配りたいと思いました。  
自分はヤゴの羽化殻を探すことに、夢中になっていました。きっと、子どもたちもそうなると思います。機会がありましたら多くの先生方に声を掛けたいと思います。
  - 講義の後、実際にヤゴの羽化殻の採集をさせてもらい、具体的なイメージ持つことができました。思った以上に容易に数多く採集することができ、これらの活動や、ヤゴの生態の様子なら、小3.小4の子ども達に生き物(昆虫)の生活を紹介したり、一研究のテーマ、クラブ活動として紹介、助言・指導していくことも可能だと感じた。
- (2) メンバー(小学生)から
- メガネサナエのヤゴの羽化殻の数が、どうして少なかったのか知りたい。
  - メガネサナエの羽化殻は他のものと比べて、形がとても違い、面白いと思いました。
  - メガネサナエの羽化殻は三個しかなかったけどほかのトンボの羽化殻がとてもあってとてもびっくりした。今回の活動も併せて提言を考えてみたい。
  - 色んな羽化殻を見られて良かった

## 6 講座&プロジェクト点描



公民館のガイダンスでまざヤゴの多様性を



岡谷市湖畔の栈橋で



モニタリング調査の記念に 暑い中でしたが、みんな頑張りました！

- ※1 目的の1つとして、諏訪地域の事象に触れ、ふるさとに関わる事実を起点としたふるさと学習のヒントを見出す講座。
- ※2 諏訪の未来をにやう小中学生が、学校や年代を越えて、諏訪市のこれからのまちづくりにテーマを持って、協働しながら探究し、諏訪市長や諏訪市教育長にその成果を提案するプロジェクト。

<担当> 諏訪市教育委員会教育総務課企画係  
TEL 0266-52-4141(内線 469) 係長 森 崇  
FAX 0266-53-8299 三村 昌弘